



MEITETSU HOSPITAL



認定番号 JCS199号

名鉄病院 news letter

人に寄りそう 命と向き合う

令和3年 秋号

栄養サポートチームにおける薬剤師の関わり 認知症サポートチームにおける薬剤師の関わり



撮影: 予防接種センター 谷口 恵

コロナ禍での2020オリンピック・パラリンピックが終わりました。開催前、尾身会長が危惧していた様に開催地の東京を中心に感染が爆発的に拡大し、その後愛知県でも新規感染者が毎日1000人を超えるなど深刻な状況になっているのはご存知の通りです。9月10日、この原稿の執筆時点では新規患者数が減少傾向というものの、病院を始め保健所やクリニックの皆様にとって是一日たりとも気が休まらない日が続いています。このような状況下で当院も救急外来などで少なからず皆様にご迷惑をおかけしており申し訳なく思っています。

さて当院では、この8月に前愛知医科大学病院長で麻酔科の藤原祥裕先生が周術期管理センター長として就任いたしました。10月と来年の1月には更に2人の麻酔医が就任いたします。藤原先生には大学での経験を存分に発揮して頂き、より安心安全で質の高い手術や周術期の管理を提供して頂けると思います。コロナに負けず、一人一人が医療にしっかり取り組み、地域医療に貢献したいと願っています。よろしくお願いいたします。



名鉄病院
病院長

細井 延行



栄養サポートチーム(NST:Nutrition Support Team) における薬剤師の関わり



NSTメンバーは医師、管理栄養士、看護師、検査技師、薬剤師で構成され、薬剤部では3名の薬剤師(内2名NST専門療養士)がNSTで活動しています。当院のNSTは2チームあり、毎週火曜日と木曜日の週2回、回診を行っています。1回あたり約30名程度の患者さんを対象に回診を行っています。

カンファレンスでは、各患者さんの栄養アセスメントとして栄養障害の程度および栄養療法の適応を確認し、栄養療法の効果判定を行います。現在の患者さんの状態からだけではなく、前回と比較した客観的な判断が重要であり、チーム内で多職種の

目線から患者さんを見て、問題点の共有と改善案の検討を行っています。

例えば食事摂取量が落ちている患者さんについてですが、一概に「食欲不振」と言っても、理由は様々です。薬剤の副作用ではないか、味覚異常はないか、排便コントロールは良好か、術後の患者さんであれば疼痛コントロールは問題ないか等、様々な視野で検討し問題に応じて薬学的アプローチを行います。食欲改善効果のある薬剤を提案する場合もあります。経腸的に栄養投与を行なっている患者さんに対しては、適宜、消化管運動改善作用のある薬剤や誤嚥予防効果のある薬剤等を提案する事で、トラブルなく栄養療法を実施できるようサポートしています。

また、短期間食事摂取ができない患者さんの場合は、末梢静脈栄養(PPN:peripheral parenteral nutrition)、長期間食事摂取ができない患者さんの場合は、中心静脈栄養(TPN:total parenteral nutrition)が投与される事があります。私達NST薬剤師は、腎機能障害や肝機能障害、電解質異常などがある患者さんなど個々に合わせた輸液メニューの提案も行っています。



★輸血メニューの 提案例です

現行のTPNメニュー

本体 エルネオパ®NF2号輸液1000mL
側管 イントラリボス®輸液20%100mL

改善案

提案メニュー

本体 大塚糖液50%200mL×2
キドミン®輸液200mL×2
YDソリタ®-T1号輸液200mL
オーツカMV注
メドレニック®注
側管 イントラリボス®輸液20%100mL

理想摂取量
カロリー1100caL
水分量1000mL
タンパク質26g
検査値の一部ですが、
身長154cm、体重33kg
eGFR25mL/分/1.73
Crea0.78mg/dL
K5.9mmol/L

問題点は…
腎機能が悪い!
カリウムが高い!

例えば、カリウムが入っていない腎臓にやさしいメニューを提案し、腎機能や電解質を見みながら再提案を行って行きます。

栄養状態の維持向上は治療効果をより高めるために必要不可欠です。私達NST薬剤師は以上のような活動を通して、患者さんの栄養状態が改善され少しでも元気を取り戻していただけるよう、これからもサポートを続けていきたいと思っています。随時、様々な相談を受け付けていますのでお気軽に相談下さい。

認知症サポートチーム(DST:Dementia Support Team) における薬剤師の関わり



●名鉄病院の認知症サポートチーム(DST)の活動内容

当院のDSTメンバー

- ・ 薬剤師3名
- ・ 認知症サポート医1名
- ・ 認知症疾患医療センター専従看護師1名
- ・ 認知症看護認定看護師3名
- ・ 摂食・嚥下障害看護認定看護師1名
- ・ 院内認定病棟リンクナース、社会福祉士、作業療法士など多職種で構成されています。



入院された患者さんのうち、せん妄やBPSD(暴力、徘徊などの認知症に伴う行動・心理症状)に対して治療が必要と判断された場合、ご本人やご家族および主治医の同意のもと、認知症疾患医療センターへDSTの介入依頼となります。



依頼があった患者さんに対して多職種でのカンファレンスを行い、必要に応じてラウンドを行って実際に患者さんの状態を確認し評価します。カンファレンスではそれぞれの職種が専門知識を持ち寄ることで、様々な視点からより効率的に問題解決を行っています。

薬剤師は、患者さんの使用薬剤を確認し、必要に応じて既往歴や現在の状態において問題となっている薬剤の変更や中止を提案することで薬剤の適正使用に寄与しています。薬剤管理が困難となる場合に剤形の変更、服用回数を減らせるような工夫や処方提案を行い、退院後の患者さんの生活にも貢献できるよう努めています。

●せん妄予防への取り組み

当院のせん妄予防の取り組みとして、独自の「せん妄ハイリスク薬剤リスト」を作成し、せん妄ハイリスク患者さんの持参薬についてリスクとなる薬剤を使用していないかチェックを行います。せん妄の予防は原因となる因子をできる限り少なくするようなケアが大切となります。せん妄リスク薬の中にはすぐに変更できない薬剤もありますが、減量・中止・変更の必要がある場合は担当医と相談し、看護師、メディカルスタッフ等と情報共有を行っています。

●睡眠薬・抗不安薬の適正使用の推進

不眠などの症状に対して睡眠薬・抗不安薬が使われることがあります。その中でもベンゾジアゼピン系薬剤(BZ系薬剤)は一般的に使用されることが多い睡眠薬・抗不安薬ですが、薬物依存性、せん妄発症、筋弛緩作用などがあります。特に、高齢の患者さんにおいては、筋弛緩作用による転倒やせん妄の発症リスクが問題となります。そこでDSTが主導となり、これらのBZ系薬剤について院内採用薬を減らす取り組みを行いました。

BZ系薬剤は直ちに中止できない場合もありますが、BZ系薬剤に比べてせん妄や依存性が少ない薬剤の組み合わせを積極的に提案することで薬剤選択に貢献しています。



●最後に

当院ではせん妄治療や不眠症治療、さらには終末期の精神的な苦痛の緩和など幅広い症例にも対応しています。認知症の専門医療機関である認知症疾患医療センターを有する病院として、地域医療にも貢献していきたいと考えています。DSTで調整した薬剤の変更内容について退院時に情報提供を行ったり、睡眠薬をはじめとした薬剤の適正使用に関する情報を共有したりすることで、入院前からせん妄予防に寄与できるような活動ができればと考えています。また認知症の薬だけでなく薬剤のことで気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

新任医師のご紹介



周術期管理センター
センター長
藤原 祥裕

【資格】
専門医機構 麻酔専門医
日本集中治療学会認定医
日本ペインクリニック学会専門医

「周術期管理センター」を新設しました。

2021年8月1日より周術期管理センター長として赴任した藤原祥裕です。当院の手術医療がより活性化されるよう微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、近年の手術医療の進歩には目を見張るものがあります。とくに内視鏡やロボット技術の導入は従来に比べて患者さんのお体への負担を格段に少なくし、ご高齢の方でも安全に手術を受けることができるようになってきました。当院は手術医療をさらに充実させることによって地域の皆様のお役に立ちたいと考えています。しかしながら、誰も手術を受けるのは怖いと感じるものです。周術期管理センターは手術中の麻酔管理、手術前から手術後まで合併症の予防や術後痛の緩和などを通じて、より質の高い手術医療を提供し、皆様に安心して手術を受けていただけるよう各診療科と共同して取り組んでいます。

栄養士の紹介する 健康によいレシピ

秋鮭の胡麻焼き満足サラダ

同じ味付けになりがちなサラダも旬な食材と合わせることで立派なメイン料理として美味しく野菜が食べられます。きのこ、かぼちゃ、枝豆には食物繊維が多く腸内環境を整えるだけでなく糖やコレステロールを排出してくれる働きもあります。サラダなので冷めても美味しく、忙しい朝や時間のない昼などバランスに気を遣ってられない時でも手軽に必要な栄養素が摂れる1品です。プチプチとした食感と香ばしさも食事を楽しんでくれます。



【材料(2人分)】

- 鮭の切り身……………2切れ
- A ● 酒・みりん……………大さじ1
- 水菜……………お好み量
- スライスかぼちゃ……………150g
- 冷凍枝豆……………お好み量
- 黒胡麻・白胡麻……………適量
- 油……………各大さじ1
- しめじ・舞茸……………1袋
- B ● 砂糖……………小さじ1
- 醤油……………小さじ2

【作り方】

- ① 鮭は一口大に切りAを揉みこみ5分置く。
水菜はよく洗い水気を切り食べやすい大きさに切る。
かぼちゃは耐熱皿に入れラップをし、電子レンジ(500w)で3〜4分加熱する。冷凍枝豆は解凍しておく。
- ② 鮭の両面に胡麻をまぶし付け、油を引いたフライパンでこんがりするまで両面焼く。焼いたら取り出しておく。
- ③ 同じフライパンに油を引き、かぼちゃを焼く。
焼き目が付いたら、きのこ類を入れBで調味する。
- ④ お皿に全て盛り付ける。



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生 2-26-11
URL <http://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL052-551-6121(代表)



経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

病床数

HCU	12床
一般病床	321床(7:1看護)
地域包括ケア病床	40床
合計	373床

診療科目

- 内科
- 脳神経内科
- 小児漢方内科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 麻酔科
- 循環器内科
- 血液内科
- 外科
- 女性泌尿器科
- 放射線科
- 腎臓内科
- 内分泌・代謝内科
- 消化器外科
- 脳神経外科
- 耳鼻咽喉科
- 病理診断科
- 消化器内科
- 透析内科
- 整形外科
- 婦人科
- 眼科
- リウマチ科
- 呼吸器内科
- 小児科
- 皮膚科
- 形成外科

診療センター

- 内視鏡センター
- 肝臓疾患センター
- 予防接種センター
- 周術期管理センター
- 認知症疾患医療センター
- 関節鏡・スポーツ整形外科センター
- 健診センター
- 透析センター
- 糖尿病センター
- ウロギネセンター
- 中耳サージセンター

専門外来 ※予約制(一部を除く)

- 禁煙外来
- ASO外来
- シルバークリニック
- 糖尿病透析予防外来
- 小児慢性疾患外来
- 関節鏡外来
- 小児整形外科外来(月1回・不定期)
- リウマチ膠原病内科
- パースメーカー外来
- インスリン導入外来
- フットケア外来
- 乳腺外来
- スポーツ外来
- 女性泌尿器科外来 ほか
- スポーツ内科(他院から紹介のみ)
- 肝臓外来
- 糖尿病眼合併症外来
- 乳児健診
- ストマ外来
- 音声外来



1号館前の名鉄病院駐車場について
平日7時〜17時の利用で、来院の方は割引サービスが可能です。
1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引
認証を受けてください。
また、病診連携専用の駐車場も用意しておりますので、詳しくは地域医療
連携室までお問合せください。

病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部総務課 TEL. 052-551-6299 FAX. 052-551-6711